

愛媛県看護協会 助産師職能委員会 ニュースレター

第7号

目次

1. 研修報告：「愛媛で生まれた子をみんなで支えよう
—母子とともに歩む伴走型地域連携—」
：「多施設合同新人助産師研修」
2. 患者サービスの取り組み
3. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報
4. お産にまつわるお話
5. 原稿募集中！入会手続きのご案内 編集後記

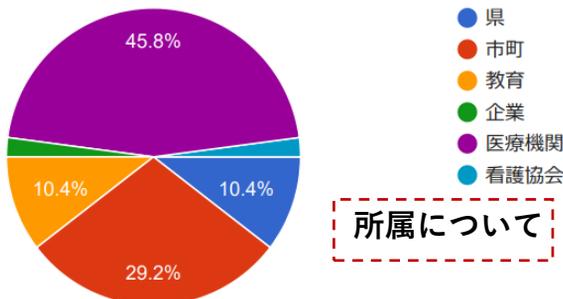
1. 研修報告 保健師・助産師職能合同交流集会

「愛媛で生まれた子をみんなで支えよう

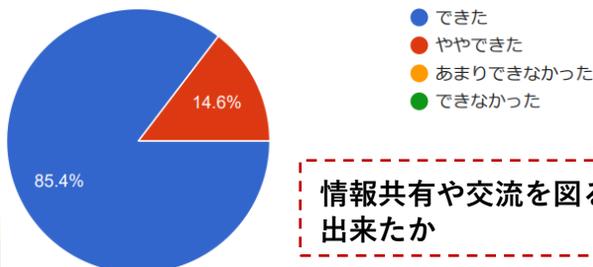
—母子とともに歩む伴走型地域連携—」

10月12日（土）に保健師・助産師職能合同交流集会「愛媛で生まれた子をみんなで支えよう—母子とともに歩む伴走型地域連携—」が開催されました。

参加者は三職能を対象とし46名の参加がありました。まず、行政から「こども家庭庁設置による愛媛県の母子保健事業について」愛媛県子育て支援課 烏谷茂樹氏より説明をしていただきました。講師には愛媛県立医療技術大学 育成支援看護学 特命教授 豊田ゆかり先生、活動報告は愛媛大学医学部附属病院 助産師 上本亜希氏、愛媛県立中央病院 看護師 藤原優子氏、今治市役所 ネウボラ政策課 太田いつみ氏を迎え活動について発表していただきました。活動報告後、グループワークで現状の共有、対応で困ったこと・良かったこと、お互いが望むこと、知りたいことについて意見交換や情報共有を行いました。看護師・助産師・保健師が交流することができ、活発に意見交換することでそれぞれの熱意を共有できていました。また、病院・地域・教育現場等様々な所属の参加者でしたが、顔の見える関係となり講義で学んだことを現場で活かしていきたいという意見も多数みられました。（神野優子）



アンケート結果について



研修報告：「多施設合同新人助産師研修会」始まりました！



令和6年9月27日に第1回目の多施設合同新人助産師研修会が開催されました。愛媛県内の新人助産師16人が集合しました。午前は、宮崎大学医学部看護科母性看護学・助産学領域を担当されている関屋伸子先生から助産師のキャリア開発の重要性や母子を取り巻く社会的環境を踏まえた上での助産師の役割について講義がありました。助産師が専門職として実践能力を習得・向上させるためには、自身のキャリアパスを明確にし、取り組むことが大切であるということ学びました。午後の「先輩の体験談」では、2人の経験年数の異なる先輩助産師からの話を聞くという貴重な経験をしました。その後、グループワークを行い、「今の私」、「一年後の私」のテーマを元に話し合いました。「一年後の私」に近づけるように頑張りましょう。有意義な時間を過ごすことができた研修でした。4回シリーズで始まりました。一緒に学び成長しよう！（山本裕紀）

11月25日、第2回目が開催されました。午前は、徳島大学大学院医歯薬学部研究部門、助産学分野 教授の葉久真理先生の講義でした。妊娠～産褥期の診断とケアについて、最新の知見も紹介しながら、診断においてはガイドラインの重要性やケアのポイントもふまえ、より具体的でわかりやすい内容でした。先生が最後に「国家資格をもった専門職の助産師になったからには一生継続していくください。」と新人助産師にエールを送っていた言葉がとても印象的でした。午後からは、愛媛県立中央病院NICU・新生児集中ケア認定看護師の西田ありさ先生の講義でした。新生児をアセスメントするための基礎的知識と技術を学ぶためのシミュレーションがありました。講義ではスライド内に動画があり異常呼吸の症例経験がない受講者にとっては、よりわかりやすい学習ができていたと思います。シミュレーションでは、グループ間で活発な意見交換がされ、全体での学びの共有となりました。（伊藤好江）



他の施設の助産師と交流できて良かった。今後ともより頑張ろうと思いました。

日程	到達目標	午前		午後
		10:00~12:30	13:30~16:00	
令和6年 9/27 (金)	1. 助産師に対する社会的要請や課題を知り、キャリアアップの方法について理解する。 2. 先輩助産師の日常を知り、キャリアアップへの意欲を促す。	【講義】 助産師クリニカルリーダーの基礎知識 宮崎大学医学部看護学 母性看護学・助産学領域 教授 関屋 伸子	【講義】 先輩の体験談 ① 私の助産師キャリア開発 ② 交流を図り、目指す助産師像を持つことが出来る < 松山赤十字病院 > 日吉 明香 < 県立今治病院 > 森田 美紀	
11/25 (月)	1. 各期（妊娠・分娩・産褥期）における助産診断を行い、ケアを考えることができる。 2. 新生児をアセスメントするための基礎的知識と技術を学ぶ。	【講義】 ① 妊娠期の診断とケア ② 分娩期の診断とケア ③ 産褥期の診断とケア 徳島大学大学院医歯薬学部 研究部門 助産学分野 教授 葉久 真理	【講義・グループワーク】 新生児のフィジカルアセスメント 愛媛県立中央病院 新生児集中ケア 認定看護師 西田 ありさ	

2. 患者サービスの取り組み～愛媛県立中央病院～

母乳育児支援について

～愛媛県立中央病院 総合周産期母子医療センターでの取り組み～

当院は、長年にわたって先輩助産師たちが母乳育児の支援を続けてきたことで2008年にWHO/UNICEFから「赤ちゃんにやさしい病院：BFH」の認定を受けました。2023年には6回目の認定更新もできました。

認定を受けてから16年が経ち、女性を取り巻く環境は年々変化し、母乳育児への思いや価値観も変化してきています。それでも「母乳育児をしたい」「母乳が出るならしたい」と思う女性は多く存在しています。しかし、授乳に関しての様々な困りごとは存在し、その対処にあたっては、SNSなどからの情報収集が増えています。個人の体験や思いが溢れる中、その人がその人らしく母乳育児を続けていくための正しい情報を本当に得られているのでしょうか。「厚生労働省」や「こども家庭庁」からも授乳に関する情報が正しく伝わることを目的に資材が作成されており、私たち助産師が支援できることもたくさんあります。

当院は、WHO/ユニセフの「母乳育児成功のための10ヵ条」に沿って支援を行っています。妊娠中から母乳育児の大切さを伝え、出産後早期から授乳を開始し、母子同床で赤ちゃんと一緒に過ごしながら、退院までの間に授乳を練習します。これからも、母乳育児を支える病院であり続けられるようにスタッフ一同で頑張っていきます。

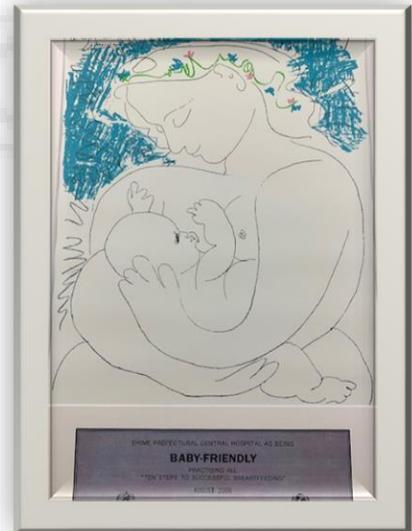
(赤穂静香 助産師 愛媛県立中央病院)



「できれば母乳で」をかなえる 施設にできる10のステップ (Ten Steps)

- 1 a) ミルクを販売促進しません (WHOコード遵守)。
b) 母乳育児支援の方針を、はっきり示します。
c) データを把握します。
- 2) スタッフは、母乳育児を支援するスキルがあります。
- 3) 妊娠中から、母乳育児の利点・コツについて話します。
- 4) 赤ちゃんが生まれたらすぐにお母さんの胸に抱き、早いうちに授乳できるよう、サポートします。
- 5) 赤ちゃんが深く吸いつきしっかり飲めるよう、授乳の始まりを助け、母乳育児で困ったときの対処法がわかるよう、サポートします。
- 6) 母乳のほかは、医学的に必要なものだけを赤ちゃんに与えます。
- 7) 赤ちゃんとお母さんがずっと一緒にいられるようにします。
- 8) 時間ごとでなく、欲しがるときに授乳できるようサポートします。
- 9) 哺乳びん・人口乳首などを使わない方が、母乳はうまくいきやすいことを伝えます。
- 10) 退院後に授乳の相談ができるところを、紹介します。

シンプルに伝える「WHO/ユニセフ Ten Steps to successful breastfeeding」
参照：<https://www.who.int/nutrition/bfhi/ten-steps/en/>



3. 助産師活動に役立つ学会および研修会情報（2025年1月～）

月	日	学会研修会名	会場
2	2	R6年度愛媛県MCMC研修会（入門編）	愛媛県医師会館4階 第1会議室
2	9	主催：助産政策ゼミ 助産政策ゼミ「日本において出産費用はどう扱われてきたか～歴史を知って助産ケアの質向上を考えよう～」	ZOOM （日本助産学会）
3	1	第34回腎と妊娠研究会学術集会	倉敷市芸文館
3	2	R6年度愛媛県MCMC研修会（基礎編）	愛媛県医師会館4階 第1会議室

4. お産にまつわるお話

「産婆」について

最近では、あまり聞かれなくなりましたが、以前は助産師のことを『産婆さん』と親しみと敬意のある呼び方をしていた時代がありました。

明治末頃まで、出産経験のある器用な老婆が産婆として、お産の取り上げだけでなく妊婦の世話や指導、新生児や産後の女性の世話など、女性の出産に関する様々な仕事をこなしていました。

戦後産婆は、助産婦と名称変更され、2002年から助産師と改名され現在に至ります。伊予郡松前町にある『高忍（たかおし）日賣（ひめ）神社（じんじゃ）』は、全国で唯一の産婆・乳母の祖神をお祀りしている神社です。3月8日は、さんばの日で全国から助産師が集まり、先人への敬意や安産を祈願します。

かつて村々を奔走し、母親と新生児ふたつの命を背負った産婆たちのスピリッツを今後も大切にしていきたいものです。
（伊藤好江 西条中央病院）



5. 原稿募集中！入会手続きのご案内 編集後記

ニュースレターを通じて実践活動や求人などの情報を共有しませんか？掲載を希望される方は愛媛県看護協会までご連絡ください。次号の原稿締切日は、2025年6月末日です。

愛媛県看護協会へ入会し、助産師間で知識と経験を共有し、母子に向けて質の高いケアを提供しませんか？また日本看護協会の看護職賠償責任保証制度は院内助産システムにも対応しており、日々の看護業務で起こりうるトラブルやリスクから守る制度があります。

（パンフレット参照）入会を希望される方は、下記までご連絡ください。お待ちしております。

公益社団法人愛媛看護協会
事務局 E-Mail nursing-ehime@circus.ocn.ne.jp

編集後記：明けましておめでとうございます。2025年のスタートです。今年は巳年です。巳年生まれの方は才能と運勢に恵まれた類まれなタイプです。目標達成まで諦めない粘り強さもあまって、成功する人が多い干支でもあります。巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されています。今年なにか新しいことに挑戦するには最適な年となりそうですね。（石川 幸枝）